

河内長野市文化財保存活用計画 別表関係

別表1 歴史文化遺産保存活用地区 構成要素

別表2 文化財建造物修理履歴

別表1-1 歴史文化遺産保存活用地区1 高野街道沿いの歴史文化遺産保存活用地区構成要素

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
歴史文化遺産保存活用地区1 高野街道沿いの歴史文化遺産保存活用地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>高野街道は、市内を南北に縦走し中高野街道、西高野街道、東高野街道が本市で合流し、また巡礼街道、大沢街道、和泉道などを派生している。これらの沿道には道標、里程石、灯籠、高札場跡、旅籠を踏襲した民家などの交通に関する歴史文化遺産が点在するため、これを「高野街道沿いの歴史文化遺産保存活用地区」とする。</p> <p>後に高野街道と呼ばれるようになる道は、弥生時代の土器の移動から、より古い時代から河内と紀伊を繋ぐ道として存在していたようであるが、高野参詣の道として河内路がとられるようになった平安時代末期以降、人の往来が飛躍的に活発化したとみられる。特に、平安時代末期には、皇族や貴族が高野参詣を行っており、その様子は白河上皇の皇子である覚法法親王の『御室御所高野山御参籠日記』や藤原忠親の『山槐記』によって知ることができる。これらによると市域は、高野参詣の中継地としても利用されたようで、藤原忠親が高野参詣の際に長野で食事や宿泊をしており、覚法法親王も石瀬(岩瀬)で休憩したという記録がある。また、治承・寿永の内乱期、南北朝、戦国期には、軍事的にも使用されたと考えられ、源行家の軍政の拠点であり、石川源氏の居館でもあった長野城も高野街道に沿った場所にあったと想定されている。この他、天見には南北朝期の古戦場跡があり、喜多町には中世山城である烏帽子形城跡がある。東西高野街道の合流地点付近には、『後宇多院御幸記』、『粉河寺文書』、『日野観音寺大般若経奥書』によると木屋堂とよばれる町場があったとされる。この他に中世には、正平21年(1366)の観心寺文書によると、高野街道の利用者から関銭(通行税)を徴収するための関所が岩瀬に置かれていた可能性が考えられる。</p> <p>近世になると脇往還として整備され、三日市町と上田町には三日市宿が置かれた。三日市宿の賑わいの様子は、『西国三十三所名所図会』にも描かれており、明和8年(1771)の三日市村明細帳によれば、本陣格の油屋をはじめとする旅籠屋が少なくとも23軒あったことが分る。近代になり高野鉄道の開通とともに、徒歩による高野参詣が減少したため、宿場は次第に利用されなくなった。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
長野地区				
寺院				
1	蓮光寺 境内	境内	未指定	
2	極楽寺 境内	境内	未指定	
3	明忍寺 境内	境内	未指定	
4	本現寺 境内	境内	未指定	
5	盛松寺 境内	境内	未指定	
6	松林寺 境内	境内	未指定	
7	極楽寺 本堂	有形文化財	未指定	
8	極楽寺 山門	有形文化財	未指定	
9	盛松寺 本堂	有形文化財	未指定	
10	松林寺 本堂	有形文化財	未指定	
11	松林寺 庫裏	有形文化財	未指定	
12	松林寺 書院	有形文化財	未指定	
神社				
13	長野神社 境内	境内	未指定	
15	三島神社 境内	境内	未指定	
16	西代神社 境内	境内	未指定	
18	千代田神社 境内	境内	未指定	
19	春日神社 境内	境内	未指定	
20	鳴尾神社 境内	境内	未指定	
14	長野神社 本殿	有形文化財	重文	
17	西代神社 本殿	有形文化財	未指定	
無形民俗文化財				
18	長野神社の松明立	無形民俗文化財	市指定無形民俗文化財	
19	西代神楽	無形民俗文化財	市指定無形民俗文化財	
近代建築				
20	西條合資会社旧店舗	有形文化財	国登録文化財	
古民家				
21	古民家	有形文化財	未指定	
22	古民家	有形文化財	未指定	
23	古民家	有形文化財	未指定	
24	古民家	有形文化財	未指定	
仏像				
25	木造 不動明王坐像	有形文化財	府指定文化財	
26	木造 毘沙門天立像	有形文化財	未指定	
27	木造 阿弥陀如来立像	有形文化財	未指定	
28	木造 地藏菩薩半跏像	有形文化財	未指定	

29	木造 阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定
30	木造 不動明王立像	有形文化財	未指定
31	木造 聖観音菩薩立像	有形文化財	未指定
小規模建造物・単体石造物			
32	原町の旧阿弥陀寺石造物群	有形文化財	市指定文化財
33	市町火除地蔵堂	有形文化財	未指定
34	古野行者堂	有形文化財	未指定
35	地蔵堂	有形文化財	未指定
36	地蔵堂	有形文化財	未指定
37	地蔵堂	有形文化財	未指定
38	三日月八字王講社	有形文化財	未指定
39	地蔵堂	有形文化財	未指定
40	碑建立の詞、明細帳の碑	有形文化財	未指定
41	膳所藩陣屋跡標石	有形文化財	未指定
42	福寿地蔵	有形文化財	未指定
43	金龍大神	有形文化財	未指定
44	元西念寺地蔵堂	有形文化財	未指定
45	割坂地蔵堂	有形文化財	未指定
46	古野阿弥陀堂跡	有形文化財	未指定
47	大師地蔵堂	有形文化財	未指定
48	キリシタン石造物・牛神森	有形文化財	未指定
49	大願地蔵堂	有形文化財	未指定
50	首無し地蔵堂	有形文化財	未指定
51	白蛇社・稻荷社	有形文化財	未指定
52	西代神社 御旅所鳥居	有形文化財	未指定
53	田中徳之助先生之碑	有形文化財	未指定
54	辻林家地蔵堂	有形文化財	未指定
55	栄町地蔵堂	有形文化財	未指定
56	地主大神塚	有形文化財	未指定
57	西代観音堂	有形文化財	未指定
58	地蔵堂	有形文化財	未指定
59	稻荷社	有形文化財	未指定
60	慈悲智恵地蔵堂	有形文化財	未指定
61	上原地蔵堂	有形文化財	未指定
62	蛭池地蔵堂	有形文化財	未指定
63	伝仲哀天皇陵地蔵堂	有形文化財	未指定
64	野作上薬師堂	有形文化財	未指定
65	地蔵堂	有形文化財	未指定
66	地蔵堂	有形文化財	未指定
67	地蔵堂	有形文化財	未指定
68	野作薬師寺	有形文化財	未指定
69	地蔵堂	有形文化財	未指定
70	地蔵堂	有形文化財	未指定
71	地蔵堂	有形文化財	未指定
72	弁財天堂	有形文化財	未指定
73	地蔵堂	有形文化財	未指定
74	地蔵堂	有形文化財	未指定
75	楠姫大明神・白玉大明神社	有形文化財	未指定
76	地蔵堂	有形文化財	未指定
77	地蔵堂	有形文化財	未指定
78	上原牛頭天王社	有形文化財	未指定
79	やまんど地蔵堂	有形文化財	未指定
80	さくら池地蔵堂	有形文化財	未指定
81	霞亭碑	有形文化財	未指定
82	竹子姫水神碑	有形文化財	未指定
83	吉年正濟翁歌碑	有形文化財	未指定
84	宝篋印塔	有形文化財	未指定
85	黄金塚	有形文化財	未指定
86	須田安兵衛池史碑	有形文化財	未指定
87	清明塚	有形文化財	未指定
88	太神宮燈籠 天保二年銘	有形文化財	未指定
89	太神宮燈籠 明和三年銘	有形文化財	未指定
90	太神宮燈籠 明和四年銘	有形文化財	未指定

91	太神宮燈籠 明和五年銘	有形文化財	未指定	
92	太神宮燈籠 明和六年銘	有形文化財	未指定	
93	太神宮燈籠 明和八年銘	有形文化財	未指定	
94	太神宮燈籠 寛政十年銘	有形文化財	未指定	
95	太神宮燈籠 安永三年銘	有形文化財	未指定	
96	太神宮燈籠 明治六年銘	有形文化財	未指定	
天然記念物				
97	吉年邸のくすのき	天然記念物	市指定天然記念物	
98	長野神社のかや	天然記念物	市指定天然記念物	
道標				
99	角柱型道標「右上神谷妙見山二十七丁 右長野よつかいど 大正二年」、太神宮灯籠安永五年銘	有形文化財	未指定	
100	角柱型道標「四国八十八ヶ所遥拝道 これより壱町 天保八」	有形文化財	未指定	
101	道標「右かうや 左ふじい寺 天保六」、道標「右さかい大坂 左まきの尾」	有形文化財	未指定	
102	道標「右かうや」	有形文化財	未指定	
103	石仏型道標「右かうや道 たき谷ふどう」	有形文化財	未指定	
104	石仏型道標「右かうやミち 左市村新田」	有形文化財	未指定	
105	石仏型道標「右八平野道 左八塚大坂道」 道標「右平野是より四里 左さかい大坂 天保七」	有形文化財	未指定	
106	石仏型道標「左まきのを道 元文二」(孝子地)	有形文化財	未指定	
107	自然石型道標「右まきの 左かうや 嘉永七年」	有形文化財	未指定	
108	石仏型道標「右あまのミち 左かうやミち 宝永三年」	有形文化財	未指定	
遺跡				
109	山上講山古墳跡	遺跡	未指定	
110	旧高野街道	遺跡	未指定	
111	旧巡礼街道	遺跡	未指定	
その他				
112	行者岩	名勝	未指定	
113	高野街道合流地点	遺跡	未指定	
三日市地区				
寺院				
114	月輪寺境内	境内	未指定	
115	真教寺境内	境内	未指定	
116	本現寺境内	境内	未指定	
117	諸瀬大師堂	有形文化財	未指定	
118	増福寺本堂	有形文化財	未指定	
119	小塩阿弥陀寺跡	有形文化財	未指定	
神社				
120	烏帽子形八幡神社本殿	有形文化財	重文	
121	烏帽子形八幡神社境内	境内	史跡	
122	上田金毘羅宮	有形文化財	未指定	
123	小塩八幡宮	有形文化財	未指定	
近代建築				
124	旧三日市交番	有形文化財	市指定	
小規模建造物・単体石造物				
125	地堂大神	有形文化財	未指定	
126	地蔵ノ辻地蔵堂	有形文化財	未指定	
127	喜多大日寺地蔵堂	有形文化財	未指定	
128	堂ノ辻地蔵堂	有形文化財	未指定	
129	胸切地蔵堂	有形文化財	未指定	
130	月輪寺地蔵堂	有形文化財	未指定	
131	上の地蔵さん	有形文化財	未指定	
132	下の地蔵さん	有形文化財	未指定	
133	子安地蔵堂	有形文化財	未指定	
134	片屋ノ辻地蔵堂	有形文化財	未指定	
135	役行者堂	有形文化財	未指定	
136	片添観音堂	有形文化財	未指定	
137	太神宮燈籠 明和七年銘	有形文化財	未指定	

古民家				
138	古民家	有形文化財	国登録	
139	古民家	有形文化財	国登録	
140	古民家	有形文化財	未指定	
141	古民家	有形文化財	未指定	
142	古民家	有形文化財	未指定	
143	古民家	有形文化財	未指定	
144	古民家	有形文化財	未指定	
145	古民家	有形文化財	未指定	
仏像				
146	木造 薬師如来坐像	有形文化財	府指定文化財	
147	木造 十一面観音菩薩立像	有形文化財	重要美術品	
148	木造 地藏菩薩像	有形文化財	未指定	
149	木造 不動明王像	有形文化財	未指定	
遺跡				
150	烏帽子形城跡	史跡	国指定史跡	
151	大日寺遺跡	遺跡	未指定	
152	三日市北遺跡	遺跡	未指定	
153	三日市宿跡	遺跡	未指定	
154	高野街道	遺跡	未指定	
道標				
155	自然石型道標「右かうや」	有形文化財	未指定	
156	角柱型道標「南無大師遍照金剛 是ヨリ高野山 女人道江八里 安政四年 三日市宿」	有形文化財	未指定	
民俗文化財				
157	烏帽子形八幡神社 秋季例祭	無形民俗文化財	未指定	
講				
158	観音講	無形文化財	未指定	
岩瀬・清水・天見地区				
寺院				
159	地藏寺 境内	境内	大阪府指定名勝	
160	地藏寺 本堂	境内	未指定	
161	安明寺本堂	有形文化財	未指定	
162	岩瀬薬師寺本堂	有形文化財	未指定	
神社				
163	菅原之宮	有形文化財	未指定	
164	牛頭天王社	有形文化財	未指定	
165	蟹井神社	有形文化財	未指定	
166	稻荷社	有形文化財	未指定	
小規模建造物・単体石造物				
167	岩瀬薬師寺 五輪塔	有形文化財	府指定有形文化財	
168	宝篋印塔	有形文化財	未指定	
169	御所ノ辻地藏堂	有形文化財	未指定	
170	地藏堂	有形文化財	未指定	
171	不動堂	有形文化財	未指定	
172	石造物群	有形文化財	未指定	
173	清水井戸	有形文化財	未指定	
174	正法大師堂	有形文化財	未指定	
175	粽大師松明屋	有形文化財	未指定	
176	太神宮灯籠 寛政二年銘	有形文化財	未指定	
道標				
177	石仏型道標「右かうやくまのミち 元文六辛酉年 三月廿四日立之」(御所之辻)	有形文化財	未指定	
178	角柱型道標「高野山女人堂江七里」	有形文化財	未指定	
仏像				
179	木造 不動明王立像	有形文化財	市指定	
180	木造 毘沙門天立像	有形文化財	市指定	
遺跡				
181	千早口駅南遺跡	遺跡	未指定	
その他				
182	葛城修験 第十八経塚 岩瀬経塚山	有形文化財	未指定	
近代建築				
183	南天苑	有形文化財	国登録	

別表1-2 歴史文化遺産保存活用地区2 寺ヶ池を中心とする歴史文化遺産保存活用地区構成要素

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
寺ヶ池を中心とする歴史文化遺産保存活用地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>小山田丘陵にある寺ヶ池は近世に築造されたため池であり、その周辺には近世の新田開発に関連する歴史文化遺産が点在する。これらが存在する地区を「寺ヶ池を中心とする歴史文化遺産保存活用地区」とする。小山田丘陵は標高の低い丘陵であり、頂部には高位段丘が形成され住宅地や畑地となっている。丘陵の北部には、人工のため池である寺ヶ池が存在する。地区の大部分は、近世に幕府領(のちに膳所藩)と旗本三好氏の相給人組地となっていた。当該地は、村の境界をめぐる騒動がしばしば起きたことが知られており、市村新田との境界確定のために作成された元禄3年(1690)の絵図が現存している。明治22年には天野村と合併した。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
神社・寺院				
1	住吉神社 境内	境内	未指定	
2	住吉神社 本殿	有形文化財	未指定	
3	小山田元宮	有形文化財	未指定	
4	西福寺 境内	境内	未指定	
5	西福寺 本堂	有形文化財	未指定	
6	安楽寺 境内	境内	未指定	
7	安楽寺 本堂	有形文化財	未指定	
8	福神弁財天寺ヶ池鎮守	有形文化財	未指定	
9	地蔵堂	有形文化財	未指定	
10	地蔵堂	有形文化財	未指定	
彫刻				
11	銅造 押出仏如来三尊像	有形文化財	府指定	
12	木造 狛犬	有形文化財	府指定	
13	阿弥陀如来像	有形文化財	未指定	
遺跡				
14	寺ヶ池遺跡	遺跡	未指定	
建造物				
15	古民家	有形文化財	未指定	
16	古民家	有形文化財	未指定	
17	古民家	有形文化財	市指定	
18	古民家	有形文化財	未指定	
19	古民家	有形文化財	未指定	
20	古民家	有形文化財	未指定	
21	古民家	有形文化財	未指定	
無形民俗文化財				
22	住吉神社の馬駆神事	無形民俗文化財	未指定	
墓地				
23	小山田墓地	有形文化財	未指定	

別表1-3 歴史文化遺産保存活用地区3 観心寺と旧寺辺領の歴史文化遺産保存活用地区構成要素

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
観心寺と旧寺辺領の歴史文化遺産保存活用地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>通称天野谷と呼ばれる西除川(天野川)によって形成された南北約2kmにわたって続く河岸段丘を「天野谷の歴史文化遺産保存活用地区」とする。本地区の南端には、多くの歴史文化遺産が集中する天野山金剛寺が位置し、境内の南方にはかつて寺辺領であった里山集落景観が広がっている。</p> <p>金剛寺は、草創が行基によるものと伝えられているが、承安2年(1172)に、阿観によって再興され、金堂・多宝塔・御影堂を中心とする中心伽藍が整備された。治承4年(1180)に在地の有力領主である源(三善)貞弘が天野谷の所領を寄進し、金剛寺の寺辺領が成立した。中世を通じて天野谷は金剛寺の所領であった。その後、鎌倉時代から南北朝期にかけての金剛寺は、内乱の重要局面で戦乱の舞台となり、南北朝時代の正平9年(1354)から同14年(1359)まで後村上天皇の行在所となった。その後、室町時代から戦国期にかけては、全盛期を迎え、100坊前後の子院が中心伽藍の周辺に軒を連ね、境内都市として隆盛し、周辺の豊富な森林資源を利用した天野柚、檜皮、白炭の生産が行われ、僧坊酒の特産化が進んだとみられる。金剛寺には、この頃を描いたとされる境内図が伝わっており、河内名所図会や近世になって作成された境内図からは、子院数の減少や境内地の縮小化がみられるものの全盛期の姿を十分に読み取ることができる。</p> <p>近世に入ると本地区は、羽柴秀吉の天正検地で村切りされ、北半部が下里村、南半部が天野山村となったと考えられる。なお、天野山村は、金剛寺領と膳所藩領に分割され、下里村は膳所藩領となった。金剛寺に安堵された寺領は307石にのぼり、近世にあっては異例に属する。その後、明治22年に天野山村と下里村は合併し天野村となり、昭和15年に長野町と合併した。金剛寺は廃仏毀釈等の影響により、かつての子院の多くが滅失するに至った。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
寺院・神社(跡)				
1	河合寺 境内	境内	府規則指定	
2	観心寺 境内	境内	国史跡	
3	極楽寺跡	境内	未指定	
4	放光寺跡	境内	未指定	
5	川上神社 境内	境内	未指定	
6	八幡神社 境内	境内	未指定	
7	三嶽神社 境内	境内	未指定	
8	延命寺 境内	境内	未指定	
9	観心寺 金堂	有形文化財	国宝	
10	観心寺 訶梨帝母天堂	有形文化財	重文	
11	観心寺 書院	有形文化財	重文	
12	観心寺 建掛塔	有形文化財	重文	
13	観心寺 恩賜講堂	有形文化財	重文	
14	観心寺 大門	有形文化財	府指定	
15	観心寺 鎮守社拝殿 附 棟札一枚	有形文化財	府指定	
16	観心寺 御影堂(大師堂)	有形文化財	府指定	
17	観心寺 本願堂(開山堂)	有形文化財	府指定	
18	観心寺 禎本院中門	有形文化財	府指定	
19	観心寺 禎本院持仏堂	有形文化財	府指定	
20	弥勒堂(鳩原東端集会所)	有形文化財	未指定	
21	大日寺	有形文化財	未指定	
22	小深公民館(旧天狗堂)・産土神社跡	有形文化財群	未指定	
彫刻				
23	千手観音及不動明王、毘沙門天立	有形文化財群	重文	
24	持国天立像	有形文化財	重文	
25	多聞天立像	有形文化財	重文	
26	阿弥陀如来坐像	有形文化財	市指定	
27	薬師如来立像	有形文化財	重要美術品	
28	蔵王権現立像	有形文化財	重要美術品	
29	大日如来坐像	有形文化財	重文	
30	厨子入 地藏菩薩半跏像	有形文化財	未指定	
31	厨子入 千手観音坐像	有形文化財	未指定	
32	厨子入 白衣観音坐像	有形文化財	未指定	
33	阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定	
34	地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
35	木造 大黒天	有形文化財	未指定	
36	木造 如来形坐像	有形文化財	未指定	
37	木造 大日如来坐像	有形文化財	未指定	

38	大日如来坐像	有形文化財	市指定	
39	大日如来坐像	有形文化財	市指定	
40	如意輪觀音坐像	有形文化財	重文	
41	觀世音菩薩立像	有形文化財	重文	
42	釈迦如来半跏像	有形文化財	重文	
43	聖觀音菩薩立像	有形文化財	重文	
44	聖觀音菩薩立像	有形文化財	重文	
45	聖觀音菩薩立像	有形文化財	重文	
46	聖觀音立像	有形文化財	重文	
47	十一面觀音立像	有形文化財	重文	
48	地藏菩薩立像	有形文化財	重文	
49	如意輪觀音坐像	有形文化財	国宝	
50	宝生如来坐像	有形文化財	重文	
51	弥勒菩薩坐像	有形文化財	重文	
52	釈迦如来坐像	有形文化財	重文	
53	薬師如来坐像	有形文化財	重文	
54	愛染明王坐像(後村上天皇御念持 仏)	有形文化財	重文	
55	持国天立像	有形文化財	重文	
56	多聞天立像	有形文化財	重文	
57	広目天立像	有形文化財	重文	
58	愛染明王坐像	有形文化財	重文	
59	不動明王坐像	有形文化財	重文	
60	木造 地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
61	木造 大日如来坐像	有形文化財	未指定	
62	木造 不動明王立像	有形文化財	未指定	
63	釈迦如来立像	有形文化財	重文	
64	薬師如来坐像	有形文化財	市指定	
65	木造 勝三世明王立像	有形文化財	未指定	
66	厨子入 木造 大随求尊坐像	有形文化財	未指定	
67	厨子入 木造 大威徳明王立像	有形文化財	未指定	
68	厨子入 木造 佛眼佛母尊坐像	有形文化財	未指定	
69	厨子入 木造 降三世明王立像	有形文化財	未指定	
70	厨子入 木造 釈迦如来坐像	有形文化財	未指定	
71	厨子入 木造 毘沙門天立像	有形文化財	未指定	
72	木造 十二神将立像	有形文化財	未指定	
73	木造 日光菩薩立像	有形文化財	未指定	
74	木造 月光菩薩立像	有形文化財	未指定	
75	木造 蔵王権現立像	有形文化財	未指定	
76	木造 大元帥明王像頭部	有形文化財	未指定	
77	木造 阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定	
78	木造 孔雀明王坐像	有形文化財	未指定	
79	金銅仏	有形文化財	未指定	
80	蔵王権現立像	有形文化財	未指定	
81	日光菩薩	有形文化財	未指定	
82	月光菩薩	有形文化財	未指定	
83	十二神将	有形文化財	未指定	
84	大元帥明王面部像	有形文化財	未指定	
85	地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
86	十一面觀音菩薩立像	有形文化財	未指定	
87	阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定	
88	勝三世明王立像	有形文化財	未指定	
89	釈迦如来坐像	有形文化財	未指定	
90	不動明王立像	有形文化財	未指定	
91	毘沙門天立像	有形文化財	未指定	
92	仏眼仏母尊坐像	有形文化財	未指定	
古民家				
93	古民家	有形文化財	府指定	
94	古民家	有形文化財	未指定	
95	古民家	有形文化財	未指定	
96	古民家	有形文化財	重文	
97	古民家	有形文化財	未指定	
98	古民家	有形文化財	未指定	

99	古民家	有形文化財	未指定	
100	古民家	有形文化財	未指定	
101	古民家	有形文化財	未指定	
102	古民家	有形文化財	未指定	
103	古民家	有形文化財	未指定	
104	古民家	有形文化財	未指定	
105	古民家	有形文化財	未指定	
106	古民家	有形文化財	未指定	
107	古民家	有形文化財	未指定	
108	古民家	有形文化財	未指定	
109	古民家	有形文化財	未指定	
110	古民家	有形文化財	未指定	
遺跡・名勝・天然記念物				
111	寺元遺跡	遺跡	未指定	
112	鳩原遺跡	遺跡	未指定	
113	太井遺跡	遺跡	未指定	
114	延命寺遺跡	遺跡	未指定	
115	僧浄庵の墓	遺跡	市指定	
116	夕照もみじ	天然記念物	府指定	
工芸品				
117	観心寺縁起資財帳	有形文化財	国宝	
118	絹本着色 大随求像	有形文化財	重文	
119	腹巻	有形文化財	重文	
120	鉄造 灯籠	有形文化財	重文	
121	金銅 蓮華花瓶	有形文化財	重文	
122	種字十三佛板碑	有形文化財	未指定	
古文書・典籍				
123	観心寺縁起	有形文化財	重文	
124	観心寺文書(六百八十八通)	有形文化財	重文	
125	伊達政宗自筆書状	有形文化財	市指定	
126	東洋図・世界図屏風	有形文化財	市指定	
127	中尊寺経 金銀字経百六十六卷、 金字経五十卷	有形文化財	重文	
小規模建造物・単体石造物				
128	船井薬師堂	有形文化財	未指定	
129	石見川草	有形文化財	未指定	
130	五輪塔(伝楠木正成首塚)	有形文化財	未指定	
131	畠山高政碑	有形文化財	未指定	
祭礼・行事				
132	しめ縄づくり	無形民俗文化財	未指定	
133	勧請縄かけ	無形民俗文化財	未指定	
134	勧請縄かけ	無形民俗文化財	未指定	
墓地				
135	河合寺墓地	有形文化財	未指定	
136	河合寺霊園	有形文化財	未指定	
137	河南東山墓地	有形文化財	未指定	
138	観心寺墓地	有形文化財	未指定	
139	大日寺墓地	有形文化財	未指定	
140	鳩原墓地	有形文化財	未指定	
141	太井墓地	有形文化財	未指定	
142	小深墓地	有形文化財	未指定	
143	石見川墓地	有形文化財	未指定	

別表1-4 歴史文化遺産保存活用地区4 天野谷の歴史文化遺産保存活用地区構成要素

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
天野谷の歴史文化遺産保存活用地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>通称天野谷と呼ばれる西除川(天野川)によって形成された南北約2kmにわたって続く河岸段丘を「天野谷の歴史文化遺産保存活用地区」とする。本地区の南端には、多くの歴史文化遺産が集中する天野山金剛寺が位置している。そして天野谷は中世・近世を通じて金剛寺の所領として栄えた。</p> <p>金剛寺は、草創が行基によるものと伝えられているが、承安2年(1172)に、阿観によって再興され、金堂・多宝塔・御影堂を中心とする中心伽藍が整備された。治承4年(1180)、在地の有力領主である源(三善)貞弘が天野谷の所領を寄進し、金剛寺の寺辺領が成立した。中世を通じて天野谷は金剛寺の所領であった。その後、鎌倉時代から南北朝期にかけての金剛寺は、内乱の重要局面で戦乱の舞台となり、南北朝時代の正平9年(1354)から同14年(1359)まで後村上天皇の行在所となった。その後、室町時代から戦国期にかけては、全盛期を迎え、100前後の子院が周辺に軒を連ね、境内都市として隆盛し、周辺の豊富な森林資源を利用した天野杣、檜皮、白炭の生産が行われ、僧坊酒の特産化が進んだとみられる。金剛寺には、この頃を描いたとされる境内図が伝わっており、河内名所図会や近世になって作成された境内図からは、子院数の減少や境内地の縮小化が見られるものの全盛期の姿を十分に読み取ることができる。</p> <p>近世に入ると本地区は、羽柴秀吉の天正検地で村切りされ、北半部が下里村、南半部が天野山村となったと考えられる。なお、天野山村は、金剛寺領と膳所藩領に分割され、下里村は膳所藩領となった。金剛寺に安堵された寺領は307石にのぼり、近世にあっては異例に属する。その後、明治22年に天野山村と下里村は合併し天野村となり、昭和15年に長野町と合併した。金剛寺は廃仏毀釈や戦後の農地改革の影響により、かつての子院の多くが滅失するに至った。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
寺院				
1	金剛寺 境内	史跡	国史跡	
2	金剛寺 境内林	有形文化財群	選定保存地域	
天野山金剛寺の建造物				
3	金剛寺 金堂	有形文化財	重文	
4	金剛寺 多宝塔	有形文化財	重文	
5	金剛寺 御影堂	有形文化財	重文	
6	金剛寺 鐘楼	有形文化財	重文	
7	金剛寺 楼門	有形文化財	重文	
8	金剛寺 食堂	有形文化財	重文	
9	摩尼院 書院	有形文化財	重文	
10	金剛寺 本坊 持仏堂	有形文化財	国登録	
11	金剛寺 本坊 客殿	有形文化財	国登録	
12	金剛寺 本坊 大玄関	有形文化財	国登録	
13	金剛寺 本坊 奥殿	有形文化財	国登録	
14	金剛寺 本坊 渡廊下	有形文化財	国登録	
15	金剛寺 本坊 茶室	有形文化財	国登録	
16	金剛寺 本坊 表門	有形文化財	国登録	
17	金剛寺 無量寿院・籠堂	有形文化財	国登録	
18	金剛寺天野川東岸旧子院築地堀	有形文化財	国登録	
19	金剛寺 旧理趣院表門	有形文化財	国登録	
20	金剛寺 旧真福院表門	有形文化財	国登録	
21	金剛寺 大講堂	有形文化財	国登録	
22	金剛寺 大講堂食堂	有形文化財	国登録	
23	金剛寺 鎮守橋	有形文化財	国登録	
24	金剛寺 南大門(日野口門)	有形文化財	府指定	
25	金剛寺 総門(仁王門)	有形文化財	府指定	
26	金剛寺 築垣	有形文化財	府指定	
27	金剛寺 求聞持堂	有形文化財	府指定	
28	金剛寺 薬師堂	有形文化財	府指定	
29	金剛寺 五仏堂	有形文化財	府指定	
30	金剛寺 五仏堂渡廊	有形文化財	府指定	
31	金剛寺 御影堂渡廊	有形文化財	府指定	
32	金剛寺 閻伽井屋	有形文化財	府指定	

33	金剛寺 法具蔵	有形文化財	府指定	
34	金剛寺 護摩堂	有形文化財	府指定	
35	金剛寺開山堂附：石造三重塔	有形文化財	府指定	
36	金剛寺 宝蔵	有形文化財	府指定	
37	金剛寺 経蔵	有形文化財	府指定	
38	金剛寺 弁財天社	有形文化財	府指定	
39	金剛寺 八大龍王・善女龍王社	有形文化財	府指定	
40	金剛寺 天照皇大神社	有形文化財	府指定	
41	金剛寺 鎮守丹生・高野明神社	有形文化財	府指定	
42	金剛寺 鎮守水分明神社	有形文化財	府指定	
43	金剛寺 鎮守社 鐘楼	有形文化財	府指定	
44	金剛寺 吉祥院	有形文化財	国史跡	
45	金剛寺 観蔵院跡	有形文化財	国史跡	
46	青賀原神社 境内	有形文化財	未指定	
47	下里観音堂	有形文化財	未指定	
彫刻				
48	大日如来坐像 附 木造天蓋、不動明王坐像、降三世明王坐像	有形文化財群	国宝	
49	二天王立像	有形文化財	重文	
50	大日如来坐像	有形文化財	重文	
51	五智如来坐像	有形文化財	重文	
52	木造 薬師如来立像	有形文化財	府指定	
53	千手観音菩薩立像	有形文化財	市指定	
54	地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
55	天部形立像	有形文化財	未指定	
56	大黒天立像	有形文化財	未指定	
57	不動明王立像	有形文化財	未指定	
58	厨子入 千手観音菩薩	有形文化財	未指定	
59	不動明王立像	有形文化財	未指定	
60	不動明王坐像	有形文化財	未指定	
61	不動明王坐像	有形文化財	未指定	
62	不動明王立像	有形文化財	未指定	
63	月光菩薩立像	有形文化財	未指定	
64	日光菩薩立像	有形文化財	未指定	
65	十二神将像	有形文化財	未指定	
66	弁財天坐像	有形文化財	未指定	
67	蔵王権現立像	有形文化財	未指定	
68	千手観音立像	有形文化財	未指定	
69	蔵王権現立像	有形文化財	未指定	
70	地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
71	多聞天立像	有形文化財	未指定	
72	天部形立像	有形文化財	未指定	
73	兜跋毘沙門天立像	有形文化財	未指定	
74	虚空蔵菩薩坐像	有形文化財	未指定	
75	蔵王権現立像	有形文化財	未指定	
76	木造 阿弥陀如来坐像 <small>カ</small>	有形文化財	未指定	
77	木造 不動明王立像	有形文化財	未指定	
78	木造 阿弥陀如来立像	有形文化財	未指定	
79	木造 阿弥陀如来立像	有形文化財	未指定	
80	木造 十一面観音菩薩立像	有形文化財	未指定	
81	木造 鬼神形立像	有形文化財	未指定	
82	木造 聖観音菩薩立像	有形文化財	未指定	
83	木造 弁財天立像	有形文化財	未指定	
84	木造 阿弥陀如来立像	有形文化財	未指定	
85	厨子入 木造 毘沙門天像	有形文化財	未指定	
86	木造 聖観音像	有形文化財	未指定	
87	木造 十一面観音像	有形文化財	未指定	
88	木造 阿弥陀如来像	有形文化財	未指定	
89	厨子入 木造 阿弥陀如来像	有形文化財	未指定	

90	厨子入 木造 不動明王像	有形文化財	未指定	
無形民俗文化財				
91	天野山金剛寺の正御影供百味飲食	無形民俗文化財	市指定	
92	観音講	無形民俗文化財	未指定	
工芸品				
93	劍 無銘 附 黒漆宝剣拵	有形文化財	国宝	
94	紙本著色 日月四季山水図	有形文化財	国宝	
95	蓮花蒔絵経筥	有形文化財	重文	
96	腹巻及膝鎧	有形文化財	重文	
97	白銅鏡	有形文化財	重文	
98	野辺雀蒔絵手箱	有形文化財	重文	
99	金銅 柄香炉	有形文化財	重文	
100	金銅装 戒体箱	有形文化財	重文	
101	蓮唐草螺鈿蝶形三足卓	有形文化財	重文	
102	銅製 錢弘俣塔	有形文化財	府指定	
103	木製密教法具	有形文化財	市指定	
文書				
104	延喜式神名帳	有形文化財	国宝	
105	延喜式	有形文化財	国宝	
106	絹本著色 五秘密曼荼羅図	有形文化財	重文	
107	絹本著色 弘法大師像	有形文化財	重文	
108	絹本著色 虚空蔵菩薩像	有形文化財	重文	
109	絹本著色 尊勝曼荼羅図 (寺伝金剛三尊像)	有形文化財	重文	
110	紙本墨書 宝篋印陀羅尼經	有形文化財	重文	
111	紙本墨書 梵漢普賢行願贊	有形文化財	重文	
112	紺紙金泥 法華經	有形文化財	重文	
113	紙本金泥 宝篋印陀羅尼經	有形文化財	重文	
114	紙本墨書 大般涅槃經	有形文化財	重文	
115	紙本墨書 楠氏文書	有形文化財	重文	
116	遊仙窟残卷 元亨元年加點奥書	有形文化財	重文	
117	板絵著色 三十六歌仙図	有形文化財	市指定	
118	紙本著色 河州錦部郡下里村・泉州大鳥郡上神谷十一カ村国境争	有形文化財	市指定	
小規模建造物・単体石造物				
119	青賀原神社 境内	境内	未指定	
120	下里観音堂 境内	境内	未指定	
古民家				
121	古民家	有形文化財	未指定	
遺跡				
122	天野街道	遺跡	未指定	
123	巡礼路	遺跡	未指定	
墓地				
124	下里町墓地	有形文化財	未指定	
125	天野墓地	有形文化財	未指定	
126	天野山金剛寺墓所	有形文化財	未指定	
127	天野山金剛寺霊園	有形文化財	未指定	
128	南大阪霊園	有形文化財	未指定	

別表1-5 歴史文化遺産保存活用地区5 高向地区及び周辺の歴史学習体験地区構成要素

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
高向地区及び周辺の歴史学習体験地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>飛鳥時代の学者・政治家として知られている高向玄理の出身地と推定される「高向地区」及びこの周辺には、市内の歴史文化、自然に関して情報発信する施設や文化施設が複数存在しており、多くの人々が訪れる場所となっている。そこで、この地区を「高向地区及び周辺の歴史学習体験地区」とし、市内の歴史文化遺産やこの周辺環境についての情報を積極的に発信する地区と位置付ける。なお、当該地区にも建造物、遺跡、無形民俗文化財、趣ある旧集落があり、市指定文化財となっている祭礼が伝わるなど幅広い歴史文化遺産が点在している。</p> <p>地区内にある施設については、東部には市内の歴史と歴史文化遺産について幅広く情報発信する施設である河内長野市立ふるさと歴史学習館があり、南部には植物園である大阪府立花の文化園が、中央には、自然と歴史・文化に恵まれた本市の魅力を、実感し体験し未来へつないでいく地域活性・交流拠点の「奥河内くろまるの郷」がある。歴史文化遺産については、南部の高向神社周辺の旧集落内に比較的集中している。</p> <p>また、地区の周辺には東側に中世の山城である史跡烏帽子形城跡があり、室町時代・戦国時代における地域の戦乱の様子を学習することができる施設として、平成29年度に整備工事が完了した。この史跡烏帽子形城跡を介してさらに東には、歴史文化遺産が集中する「高野街道沿いの歴史文化遺産保存活用地区」がある。また西には、史跡金剛寺境内を中心とする「天野谷の歴史文化遺産保存活用地区」がある。このようなことから、市内の各歴史文化遺産保存活用地区をめぐる拠点としての役割を担う事が期待できる。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
学習施設				
1	河内長野市立ふるさと歴史学習	施設	未指定	
2	奥河内くろまるの郷	施設	未指定	
3	花の文化園	施設	未指定	
神社・寺院跡				
4	高向神社 境内	境内	市指定(本殿)	
5	高向王の墓	遺跡	未指定	
7	薬師堂(旧三井寺)	有形文化財	未指定	
6	高向上町会集会所(旧地福寺)	有形文化財	未指定	
8	地藏寺(旧八福寺)	有形文化財	未指定	
9	次の山観音堂	有形文化財	未指定	
彫刻				
10	阿弥陀如来坐像	有形文化財	市指定	
11	木造 釈迦如来坐像	有形文化財	未指定	
12	木造 阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定	
13	厨子入 木造 阿弥陀・薬師・釈迦・如来坐及び西国三十三所観音来迎像	有形文化財	未指定	
14	木造 地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
15	地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
16	増長天立像	有形文化財	未指定	
17	毘沙門天立像	有形文化財	未指定	
18	不動明王立像	有形文化財	未指定	
19	厨子入 木造 天部立像	有形文化財	未指定	
20	厨子入 木造 地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
21	厨子入 木造 天部立像	有形文化財	未指定	
22	木造 不動明王立像	有形文化財	未指定	
23	阿弥陀如来立像	有形文化財	未指定	
24	十一面観音菩薩立像	有形文化財	未指定	
25	雨宝童子像	有形文化財	未指定	
26	龍王像	有形文化財	未指定	
27	聖観音菩薩立像	有形文化財	未指定	
28	十一面観音菩薩立像	有形文化財	未指定	
29	地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
30	地藏菩薩半跏像	有形文化財	未指定	
31	大日如来坐像	有形文化財	未指定	

32	木造 大黒天立像	有形文化財	未指定	
33	厨子入 木造 大日如来坐像	有形文化財	未指定	
34	木造 阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定	
35	木造 地藏菩薩半跏像	有形文化財	未指定	
36	木造 地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
37	厨子入 木造 十一面觀音立像	有形文化財	未指定	
38	木造 不動明王立像	有形文化財	未指定	
39	木造 十一面觀音立像	有形文化財	未指定	
40	木造 難陀龍王立像	有形文化財	未指定	
41	木造 雨宝童子立像	有形文化財	未指定	
42	木造 阿弥陀如来立像	有形文化財	未指定	
古民家				
43	古民家	有形文化財	未指定	
44	古民家	有形文化財	未指定	
45	古民家	有形文化財	未指定	
46	古民家	有形文化財	未指定	
47	古民家	有形文化財	未指定	
48	古民家	有形文化財	未指定	
49	古民家	有形文化財	未指定	
50	古民家	有形文化財	未指定	
祭礼				
51	日野地区獅子舞	無形民俗文化財	市指定	
民俗文化財・考古資料				
52	高向神社祭礼図絵馬	有形文化財	市指定	
53	惣持寺遺跡出土鎮檀具	有形文化財	市指定	
絵図				
54	絹本著色 涅槃図	有形文化財	市指定	
55	紙本著色 十界図	有形文化財	市指定	
遺跡				
56	高向遺跡	遺跡	未指定	
墓地				
57	池坂墓地	墓地	未指定	

別表1-6 歴史文化遺産保存活用地区6 滝畑の歴史文化遺産保存活用地区構成要素

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
滝畑の歴史文化遺産保存活用地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>市内南西端部の石川最上流域にある滝畑地区は、周囲を山地に囲まれた地形的にまとまりのある里山集落が広がっており、当該地域を「滝畑の歴史文化遺産保存活用地区」とする。本地区の歴史は古く、平安時代(天慶6(943))に不動明王が翁に化現し村人に炭焼きを教えたとする伝説があり、古くから農業以外の生業に従事していたことを今日に伝えている。中世には、清水、堂村、西之村、東之村、中村、横谷が和泉の天台宗寺院である槇尾山施福寺の荘園として、滝尻が金剛寺の荘園として統治されていた。この間、鎌倉時代(正和2年(1313))に地区内の弥勒堂で法華八講が開かれたとする記録や、室町時代(興国6年(1345))に天神社が建立されたとする記録などが存在し、古くから栄えていた事が窺える。その後、太閤検地以降、各村は滝畑村として統合された。江戸時代には狭山藩領となり、明治22年には、高向村と合併した。昭和56年のダム建設によって村の中心部は、水没した。民俗学的調査のフィールドとしても著名であり、宮本常一による研究が知られている。地区内にある滝畑ふるさと文化財の森センターでは、歴史文化遺産修復資材に関する普及啓発活動を行っている他、地域の有形文化財、民俗文化財の展示が行われている。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
寺院・神社				
1	光滝寺 境内	境内	未指定	
2	天神社 境内	境内	未指定	
3	天神社 本殿	有形文化財	市指定	
4	天神社 木製灯籠	有形文化財	市指定	
5	横谷氏神社	有形文化財	未指定	
古民家				
6	古民家	有形文化財	国指定	
7	古民家	有形文化財	市指定	
8	古民家	有形文化財	未指定	
9	古民家	有形文化財	未指定	
10	古民家	有形文化財	未指定	
11	古民家	有形文化財	未指定	
12	古民家	有形文化財	未指定	
13	古民家	有形文化財	未指定	
14	古民家	有形文化財	未指定	
15	古民家	有形文化財	未指定	
16	古民家	有形文化財	未指定	
17	古民家	有形文化財	未指定	
18	古民家	有形文化財	未指定	
19	古民家	有形文化財	未指定	
20	古民家	有形文化財	未指定	
21	古民家	有形文化財	未指定	
22	古民家	有形文化財	未指定	
23	古民家	有形文化財	未指定	
24	古民家	有形文化財	未指定	
彫刻				
25	木造 不動明王立像 (炭焼不動)	有形文化財	市指定	
民俗文化財				
26	炭焼道具 附 枝炭	有形民俗文化財	市指定	
27	天神社の秋季例祭	無形民俗文化財	未指定	
遺跡				
28	滝畑埋墓	遺跡	未指定	
29	泉長寺跡	遺跡	未指定	
30	弥勒堂跡	遺跡	未指定	

31	権現堂跡	遺跡	未指定	
32	清水神社跡	遺跡	未指定	
33	明神社跡	遺跡	未指定	
34	大山祇社跡	遺跡	未指定	
35	八幡社跡	遺跡	未指定	
36	堂村地蔵堂跡	遺跡	未指定	
37	中村阿弥陀堂跡	遺跡	未指定	
38	東ノ村観音堂跡	遺跡	未指定	
39	西ノ村観音堂跡	遺跡	未指定	
40	西ノ村阿弥陀堂跡	遺跡	未指定	
41	西ノ村多聞院跡	遺跡	未指定	
42	清水阿弥陀寺跡	遺跡	未指定	
43	栢之坊跡	遺跡	未指定	
44	梅之坊跡	遺跡	未指定	
典籍				
45	妙法蓮華經	有形文化財	府指定	
天然記念物				
46	左近邸の桑の木	天然記念物	府指定	
工芸品				
47	鉄製湯釜	有形文化財	市指定	
墓地				
48	光滝寺墓地	墓地	未指定	

別表1-7 歴史文化遺産保存活用地区7 流谷の歴史文化遺産保存活用地区構成要素

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
流谷の歴史文化遺産保存活用地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>天見川の支流である流谷川の流域に形成された谷部には、かつて石清水八幡神社の荘園である甲斐庄山郷が置かれた場所であり、現在でも八幡神社を中心とした里山集落が広がっている。当該地域を「流谷の歴史文化遺産保存活用地区」とする。地区の中心をなす八幡神社は、石清水八幡神社の別宮(本宮に付属する宮)として、平安時代の末期にあたる長暦3年(1039)に勧請されたと伝えられている。文永8年(1271)9月付けの平基重寄進状には「山郷流谷別宮八幡菩薩」と記されており、この頃から山郷と呼ばれていたことが分る。なお大阪府指定文化財となっている鉄製湯釜には「河内国錦部郡甲斐庄山郡流谷八幡宮」と記載がある。当該地区は、近世になると流谷村と呼ばれるようになり、東に接する天見村と一体に扱われる場合もあったようで、検地帳でも天見村として一本化されている。建武年間に分村したとも言われている。江戸時代には、近江膳所藩、河内西代藩、伊勢神戸藩と支配領主が変遷した。寛永年間には、流谷村のうちで43.17石が下流谷として天見村に編入され、天和2年より下流谷は、下天見村となったといわれる。村高は124石、家数は20軒を前後し、人口は100人を前後した。また寺が2ヶ寺あったとされる。近代には、南天の産地としても栄えた。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
寺院・神社				
1	八幡神社 境内	境内	未指定	
2	八幡神社 本殿	有形文化財	未指定	
3	一言主神社	有形文化財	未指定	
4	齒瘡大権現社	有形文化財	未指定	
5	朝陽山 薬師寺本堂	有形文化財	未指定	
古民家				
6	古民家	有形文化財	未指定	
7	古民家	有形文化財	未指定	
8	古民家	有形文化財	未指定	
9	古民家	有形文化財	未指定	
10	古民家	有形文化財	未指定	
11	古民家	有形文化財	未指定	
無形民俗文化財				
12	勧請縄かけ	無形民俗文化財	市指定	
13	湯立神事	無形民俗文化財	未指定	
14	八幡神社 秋季例	無形民俗文化財	未指定	
小規模建造物・単体石造物				
15	石造 十三仏	有形文化財	市指定	
16	小野塚	有形文化財	未指定	
17	葛城修験第十六経塚 流谷金剛童子	有形文化財	未指定	
18	出合辻地蔵堂	有形文化財	未指定	
19	井谷地蔵堂	有形文化財	未指定	
20	元月輪寺地蔵堂	有形文化財	未指定	
21	下の不動堂	有形文化財	未指定	
22	上の不動堂	有形文化財	未指定	
23	流谷不動堂	有形文化財	未指定	
24	観音堂	有形文化財	未指定	
有形文化財				
25	鉄製 湯釜	有形文化財	府指定	
26	流谷村絵図	有形文化財	未指定	
27	流谷村文書	有形文化財	未指定	
28	八幡神社のいちょう	天然記念物	府指定	
29	金気	天然記念物	未指定	

30	鳥地獄	天然記念物	未指定	
31	南天	天然記念物	未指定	
墓地				
32	ボ谷口墓地	墓地	未指定	
33	ウエヤマ墓地	墓地	未指定	
34	墓地	墓地	未指定	
35	墓地	墓地	未指定	
36	墓地	墓地	未指定	
37	墓地	墓地	未指定	
38	墓地	墓地	未指定	
39	墓地	墓地	未指定	
景観				
40	棚田	文化的景観構成要素	未指定	
41	棚田	文化的景観構成要素	未指定	

別表1-8 歴史文化遺産保存活用地区⑧ 島の谷の歴史文化遺産保存活用地区構成要素

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
島の谷の歴史文化遺産保存活用地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>天見川の支流が形成した谷である島の谷とこの谷の入り口部にあたる集落は上天見と呼ばれ、豊かな里山集落がある。当該地区を「島の谷の歴史文化遺産保存活用地区」とする。</p> <p>地区は、旗尾岳や紀見峠等の比較的高い山地に囲まれている。当該地区は、中世に石清水八幡宮の所領である甲斐庄山郷の一部となった。付近は、南北朝期の内乱で、しばしば戦場(元弘3年(1333))等となっている。近世は、天見村の一部となり、支配領主が膳所藩、西代藩、神戸藩と変遷した。天見村は山高が市域で最も多く65.68石であり、炭、柿、柴などを産出していた。明治期には天見村となり、明治22年には岩瀬村と合併した。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
神社・寺院				
1	蟹井神社 境内	境内	未指定	
2	安明寺 境内	境内	未指定	
3	安明寺 本堂	有形文化財	未指定	
単体石造物・小規模建造物				
4	辻観音堂	有形文化財	未指定	
5	行谷の地藏堂	有形文化財	未指定	
6	行者堂	有形文化財	未指定	
彫刻				
7	木造 阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定	
8	木造 童子像	有形文化財	未指定	
9	木造 恵果阿闍梨像	有形文化財	未指定	
10	木造 不空三蔵像	有形文化財	未指定	
11	木造 善無畏三蔵像	有形文化財	未指定	
12	木造 龍猛菩薩像	有形文化財	未指定	
13	木造 金剛智三蔵像	有形文化財	未指定	
14	木造 龍智菩薩像	有形文化財	未指定	
近代建築				
15	南天苑本館	有形文化財	国登録	
古民家				
16	古民家	有形文化財	未指定	
17	古民家	有形文化財	未指定	
18	古民家	有形文化財	未指定	
19	古民家	有形文化財	未指定	
20	古民家	有形文化財	未指定	
21	古民家	有形文化財	未指定	
22	古民家	有形文化財	未指定	
23	古民家	有形文化財	未指定	
24	古民家	有形文化財	未指定	
25	古民家	有形文化財	未指定	
26	古民家	有形文化財	未指定	
27	古民家	有形文化財	未指定	
28	古民家	有形文化財	未指定	
29	古民家	有形文化財	未指定	
30	古民家	有形文化財	未指定	
31	古民家	有形文化財	未指定	

32	古民家	有形文化財	未指定	
遺跡				
33	葛城修験第十七 経塚 天見不動	有形文化財	未指定	
祭礼				
34	鑑水不動祭り	無形民俗文化財	未指定	
墓地				
35	天見墓地	有形文化財	未指定	
36	安明寺墓地	有形文化財	未指定	
37	馬場墓地	有形文化財	未指定	
38	天見流谷墓地	有形文化財	未指定	

別表1-9 歴史文化遺産保存活用地区9 岩湧寺を中心とする葛城修験霊場の歴史文化遺産

歴史文化遺産保存活用地区の名称				
岩湧寺を中心とする葛城修験霊場の歴史文化遺産保存活用地区				
歴史文化遺産保存活用地区の概要				
<p>古くから修験道の行場として開かれた本市南部に広がる金剛・和泉山地は古来、葛城山と呼ばれ、修験道の行場があった。これらの場所に「岩湧寺を中心とする葛城修験霊場の歴史文化遺産保存活用地区」を設定する。本地区には、岩湧寺、光瀧寺の寺院の他、経塚、行場、伝承地が残されており、現在でもこれらを巡拝する修行が行われている。</p> <p>本地区の中心にある岩湧山(標高897.3m)は、大峯山よりも早く開かれたことから元山上(もとさんじょう)と呼ばれた。涌出山岩湧寺は、寺伝によれば大宝年間(701～704年頃)に文武天皇勅願によって役小角が開いたとされる。また光瀧寺は、欽明天皇の勅願で行満上人が創建し、役小角が、葛城修験の行場としたとされる。両寺院に深く関係する役小角は、飛鳥時代に葛城山を中心に活躍した呪術者で、修験道の開祖とされる人物である。また、葛城の峰々を仏法世界に見立て法華経八巻二十八品のそれぞれを経筒に入れ、埋納したと伝えられ、以来、葛城山は修験道行場となった。その後、これらの伝説を基に、修行者によって山中各所に経塚がつくられ、葛城二十八宿と呼ばれる葛城修験の道場となった。この二十八宿の内、六宿が本地区に位置し、祠堂が現存し、信仰の対象となっている。</p> <p>江戸時代になると岩湧寺、光瀧寺ともに天台寺門派総本山園城寺を頂点に組織された本山派修験において修験を統括していた聖護院の筆頭院家である若王寺の末寺となった。天台宗系の修験道の大寺院であった槇尾山施福寺の影響によるものと考えられる。両寺院とも現在では融通念仏宗に改宗している。</p>				
番号	文化財の名称	類型	指定等の状況	所在地
寺院・神社				
1	天神社 境内	境内	市指定(本殿、木製灯籠)	
2	岩湧寺 境内	境内	重文(本堂)	
3	光瀧寺 境内	境内	未指定	
4	岩湧寺本堂	有形文化財	市指定	
5	岩湧寺多宝塔	有形文化財	重文	
6	岩湧寺庫裏	有形文化財	未指定	
小規模建造物・単体石造物				
7	行者堂	有形文化財	未指定	
彫刻				
8	厨子入 木造 十一面観音菩薩立像	有形文化財	未指定	
9	木造 不動明王立像	有形文化財	未指定	
10	木造 持国天立像	有形文化財	未指定	
11	木造 多聞天立像	有形文化財	未指定	
12	厨子入 木造 十一面観音菩薩立像	有形文化財	未指定	
13	不動明王立像	有形文化財	未指定	
14	大日如来坐像	有形文化財	重文	
15	木造 役行者像	有形文化財	未指定	
16	前鬼	有形文化財	未指定	
17	後鬼	有形文化財	未指定	
18	持国天立像	有形文化財	未指定	
19	多聞天立像	有形文化財	未指定	
20	如来形坐像	有形文化財	未指定	
21	愛染明王坐像	有形文化財	市指定	
22	魔王大権現	有形文化財	未指定	
23	如意輪観音坐像	有形文化財	未指定	
24	地藏菩薩立像	有形文化財	未指定	
25	阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定	
26	蔵王権現像カ	有形文化財	未指定	
27	四天王立像の内の一	有形文化財	未指定	

28	脇仏	有形文化財	未指定	
29	本尊	有形文化財	未指定	
30	地藏菩薩坐像	有形文化財	未指定	
31	毘沙門天立像	有形文化財	未指定	
32	兜跋毘沙門天立像	有形文化財	未指定	
33	地藏菩薩半跏像	有形文化財	未指定	
34	阿弥陀如来立像	有形文化財	未指定	
35	不動明王立像	有形文化財	未指定	
36	衿迦羅童子像	有形文化財	未指定	
37	制多迦童子像	有形文化財	未指定	
38	金剛界大日如来像	有形文化財	未指定	
39	如来形坐像	有形文化財	未指定	
40	阿弥陀如来坐像	有形文化財	未指定	
41	不動明王立像	有形文化財	市指定	
42	不動明王立像	有形文化財	未指定	
43	千手観音立像	有形文化財	未指定	
44	厨子入如意輪観音坐像	有形文化財	未指定	
書跡・典籍・古文書				
45	河州錦部郡滝畑村絵図	有形文化財	未指定	
46	光滝寺覚書	有形文化財	未指定	
47	岩湧寺古文書	有形文化財	未指定	
48	加賀田領並びに隣接領境界図写	有形文化財	市指定	
49	耶蘇宗門御改帳	有形文化財	未指定	
50	流谷村古図	有形文化財	未指定	
51	流谷村寺社書上控	有形文化財	未指定	
工芸品				
52	鉄製 湯釜	有形文化財	市指定	
無形民俗文化財				
53	山上講	無形民俗文化財	未指定	
遺跡				
54	葛城修験 第十八経塚 岩瀬経塚山	有形文化財	未指定	
天然記念物				
55	臥龍洞	天然記念物	未指定	
56	岩湧寺のかやのき	天然記念物	市指定	
墓地				
57	小塩墓地	墓地	未指定	
58	西浦墓地	墓地	未指定	
59	塚墓地	墓地	未指定	
60	加賀田軍人墓地	墓地	未指定	
61	宗福寺檀家墓地	墓地	未指定	
62	東部墓地	墓地	未指定	
63	尾花寺墓地	墓地	未指定	
64	神納木墓地	墓地	未指定	
65	新神納墓地	墓地	未指定	
66	旧神納墓地	墓地	未指定	
67	加賀田墓地	墓地	未指定	
68	行司河原南墓地	墓地	未指定	
69	行司河原北墓地	墓地	未指定	

別表2 文化財建造物修理履歴

区分	名称	員数	指定日	時代	所在地	所有者	直近の解体修理	左記以降の小修理	直近以外の修理
国宝	観心寺金堂	一棟	S27.3.29		寺元475	観心寺	昭和59年	-	1418年 1439年 1503年 1542年 1613年 1665年 1728年 1898年 1929年
重文	金剛寺金堂	一棟	S25.8.29	鎌倉(元応2(1320)(内陣柱反花座墨書、棟札)(慶長10修理)	天野町996	天野山金剛寺	2010年に半解体 2009~17年に半解体	-	慶長年間 1605年頃 1700年頃 1953年 1954年
重文	金剛寺多宝塔	一基	S25.8.29	平安後期(慶長11改造「擬宝珠銘」)	天野町996	天野山金剛寺	1939年 2009~17年に半解体	2009~17年に屋根葺き替え	1605~6年 1700年頃 1851年 1938年 1939年 1955年
重文	金剛寺御影堂	一棟	S25.8.29	平安(桃山に大改造)(慶長11(棟札))	天野町996	天野山金剛寺	1950年	1994年に屋根の葺き替え、北側軒の半解体修理	1606年 1897年
重文	金剛寺鐘楼	一棟	S25.8.29	室町前期	天野町996	天野山金剛寺	1991年	-	1606年 1700年頃 1841年頃 1938年 1939年
重文	金剛寺楼門	一棟	S25.8.29	鎌倉後期	天野町996	天野山金剛寺	1953年	-	1605年 1700年 1951~68年
重文	金剛寺食堂	一棟	S25.8.29	室町前期	天野町996	天野山金剛寺	1954年	1995年に小修理	1605年 1700年 1953~54年 1924年 1954年
重文	摩尼院書院	一棟	S40.5.29	桃山	天野町1006	摩尼院	1972年に半解体	2004年に屋根の葺き替え・部分修理	1991年 1993年
重文	長野神社本殿	一棟	S25.8.29	桃山	長野町8-19	長野神社	1952~53年	1924年に屋根葺き替え 1994年に本殿の檜皮葺屋根の一部補修	1720年 1752年 1782年 1868年 1897年 1924年
重文	烏帽子形八幡神社本殿	一棟	S25.8.29	室町(文明12(1480)棟札)	喜多町305	烏帽子形八幡神社	1966年	1917年 2000年に屋根葺き替え	1622年 1657年 1682年 1865年 1905年
重文	観心寺梨帝母天堂	一棟	S25.8.29	室町(天文18年)	寺元475	観心寺	1947~8年	-	1614年 2000年 2002年
重文	観心寺書院	一棟	S25.8.29	桃山	寺元475	観心寺	不明	不明 2010年に小修理	不明
重文	観心寺建掛塔	一基	S47.5.15	南北朝	寺元475	観心寺	-	1984年に屋根修理 2008年に屋根葺き替え	-
重文	山本家住宅	一棟	S44.6.20	江戸初期	小深360甲	山本喜世子	1974~75年	不明 2008年に屋根葺き替え	不明
重文	左近家住宅	一棟	S54.2.3	江戸	滝畑1700	左近福一郎	不明	不明	不明
重文	岩湧寺多宝塔	一基	S55.1.26	戦国(室町後期)	加賀田3824	岩湧寺	不明	不明	不明
重文	観心寺恩賜講堂	一棟	H29.7.31		寺元475	観心寺	不明	不明	不明
重文	観音寺	1棟	S43.4.25		日野1173-1	観音寺		1993年に収蔵庫屋根の葺き替え	不明
府指定	金剛寺2棟		S48.3.30	江戸初期・中期 慶長11元禄13享保14	天野町996	天野山金剛寺	不明	不明	不明
府指定	南大門(日野口門)	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	1994年	-	-
府指定	総門(仁王門)	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	-	-	-
府指定	築垣	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	2000年	-	-
府指定	求聞持堂	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	1991年	-	1987年
府指定	薬師堂	1棟		桃山(慶長11年)		天野山金剛寺	2003年	-	-
府指定	五仏堂	1棟		桃山(慶長11年)		天野山金剛寺	-	2003年に屋根葺き替え・部分修復	-
府指定	五仏堂渡廊	1棟		桃山(慶長11年)		天野山金剛寺	2003年	-	-
府指定	御影堂渡廊	1棟		桃山慶長		天野山金剛寺	1992年	-	-
府指定	關伽井屋	1棟		桃山慶長		天野山金剛寺	-	1993年に屋根葺き替え	-
府指定	法具蔵	1棟		桃山(慶長11年)		天野山金剛寺	2006年	-	-
府指定	護摩堂	1棟		桃山慶長		天野山金剛寺	2006年	-	-
府指定	開山堂 附:石造三重塔	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	2007年	-	-
府指定	宝蔵	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	-	-	-
府指定	縁蔵	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	1991年	-	-
府指定	弁財天社	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	1988年	-	-
府指定	八大龍王・善女龍王社	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	1988年	-	-
府指定	天照皇大神社	1棟		江戸(元禄13年)		天野山金剛寺	1988年	-	-
府指定	鎮守丹生・高野明神社	1棟		江戸(慶長11年)		天野山金剛寺	1988年	2007年に屋根の葺き替え・塗装彩色・部	-
府指定	鎮守水大明神社	1棟		江戸(慶長11年)		天野山金剛寺	1988年	-	-
府指定	鎮守社拝殿	1棟		江戸前期		天野山金剛寺	1991年	-	-
府指定	鎮守社鐘楼	1棟		江戸(享保14年)		天野山金剛寺	1939年	-	-
府指定	観心寺6棟		S50.3.31	江戸 寛永19(1642)~延享元(1744)(万治2年)	寺元475	観心寺	なし	-	-
府指定	大門	1棟		(延享元年)		観心寺	1994年	-	-
府指定	鎮守社拝殿 棟札一枚	1棟		(延享元年)		観心寺	不明	1991年に屋根修理	不明
府指定	御影堂(大師堂)	1棟		江戸中期		観心寺	-	1996年に屋根修理	1733年以降に改
府指定	本願堂(開山堂)	1棟		(正保3年)		観心寺	-	1996年に屋根修理	-
府指定	積本院中門	1棟		(寛永21年)		観心寺	-	2005年に屋根葺き替え・部分修理	-
府指定	積本院持仏堂	1棟		(寛永19年)		観心寺	2005年	-	-
府指定	薬師寺 石造五輪塔	1基	S52.3.31	南北朝 暦応4(1341)	岩瀬621甲	薬師寺	なし	なし	なし
府指定	福田家 住宅	1棟	H5.3.31	江戸前期元禄8(1695)以前 江戸(寛永)	河合寺295	福田幸代	不明	不明	不明
市指定	木造 登高座	2基	S47.3.27	鎌倉(建長6年)	天野町996	天野山金剛寺	不明	不明	不明
市指定	岩湧寺本堂	1棟	S51.3.30	江戸(江戸前期)	加賀田3824	岩湧寺	不明	不明	不明

市指定	天神社本殿	1棟	S51.3.30	江戸(元和年間)	滝畑731	天神社	2003-7年	1873年	1965年 1858年 1831年 1807年 1662年 1555年 1506年
市指定	高向神社本殿	1棟	S51.3.30	江戸(慶長13年)	高向291	高向神社	1997年	1902年	慶長年間 1801年 1844年 1873年 1902年 1932年 1946年
市指定	加賀田神社本殿	1棟	S56.3.30	江戸(元禄16年)	加賀田135	加賀田神社	2014年?	不明	不明
市指定	木製 灯籠	2基	H8.3.26	江戸末期 - 明治初期	滝畑731	天神社	2006年	不明	不明
市指定	梶谷家住宅	1棟	H14.3.29	江戸	滝畑483-23	河内長野市	2011	-	2011
市指定	旧三日市交番	1棟	H22.10.7	昭和27年	三日市町1062	河内長野市	2011 - 12年	1967 - 68年	2011 - 12年
登録文化財	南天苑本館	1棟	平成15.07.01	大正	天見158	株式会社南天苑	1963 - 64年	1990年	1963 - 64年
登録文化財	西條合資会社旧店舗主屋	1棟	平成16.11.08	江戸末期	長野町13-11	西條合資会社	2017 - 2018	-	2017 - 2018
有形文化財	西條合資会社旧店舗土蔵	1棟	平成16.11.08	江戸末期	長野町13-11	西條合資会社	2017 - 2018	-	2017 - 2018
有形文化財	河内長野市立武道館	1棟	平成18.11.29		昭和初期	河内長野市	-	2018	-
有形文化財	八木家住宅主屋	1棟	平成20.10.23	江戸後期	三日市町1109	八木庸茂	不明	-	不明
有形文化財	八木家住宅土蔵	1棟	平成20.10.23	江戸末期	三日市町1109	八木庸茂	不明	-	不明
有形文化財	辻野家住宅主屋	1棟	平成21.4.28	江戸後期	向野町123-1	辻野昌子	不明	2016	不明
有形文化財	金剛寺本坊持仏堂	1棟	平成29.6.28	江戸中期					
有形文化財	金剛寺本坊客殿	1棟	平成29.6.28	江戸中期/平成3年改修					
有形文化財	金剛寺本坊大玄関	1棟	平成29.6.28	明治44年	天野町996	天野山金剛寺	-	1995年に土壌の屋根瓦葺き替え、木部(肘木・軒桁)の補修、壁面の塗り、石積基礎の整備	-
有形文化財	金剛寺本坊奥殿	1棟	平成29.6.28	大正2年					
有形文化財	金剛寺本坊渡廊下	1棟	平成29.6.28	大正期					
有形文化財	金剛寺本坊茶室	1棟	平成29.6.28	明治44年					
有形文化財	金剛寺本坊表門	1棟	平成29.6.28	明治後期					
有形文化財	金剛寺無量寿院 龍堂	1棟	平成29.6.28	江戸中期	天野町1539	天野山金剛寺	-	-	-
有形文化財	金剛寺天野川東岸旧子院築地塀	1棟	平成29.6.28	江戸中期	天野町992他	天野山金剛寺	不明	不明	不明
有形文化財	金剛寺旧理趣院表門	1棟	平成29.6.28	江戸中期	天野町992	天野山金剛寺	不明	不明	不明
有形文化財	金剛寺旧真福院表門	1棟	平成29.6.28	江戸中期	天野町1539	天野山金剛寺	不明	不明	不明
有形文化財	金剛寺大講堂	1棟	平成29.6.28	昭和17年	天野町992	天野山金剛寺	不明	不明	不明
有形文化財	金剛寺大講堂食堂	1棟	平成29.6.28	昭和17年	天野町992	天野山金剛寺	-	-	-
有形文化財	金剛寺鎮守橋	1棟	平成29.6.28	昭和16年	天野町	天野山金剛寺	不明	不明	不明